

表町エリアマネジメント株式会社 事業報告・事業計画

みなさまには平素より当社事業への格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度は、地政学リスクの高まりに伴う資源・エネルギー価格の高騰により、電気業界全体に大変大きな影響を与えました。当社としても主事業である「表町でんき」について厳しい状況ではありますが、好転の兆しも見えてまいりました。不動産部門については、満室が引き続き続いている状態となります。

以下に、簡単ではありますが本年度の状況と来期の予測についてご案内させていただきます。

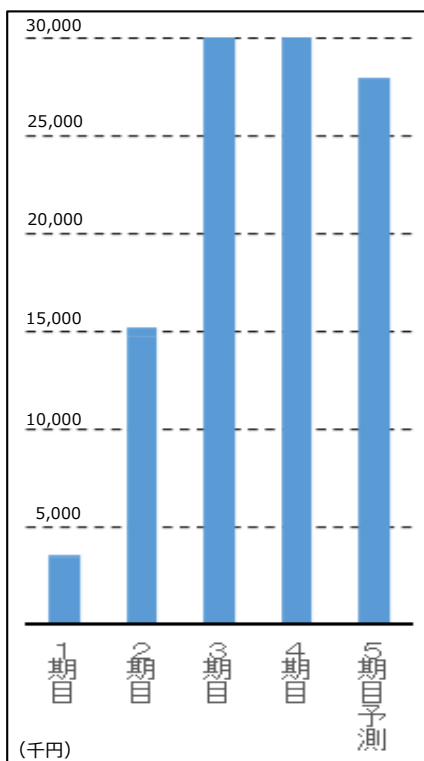
事業報告・収支報告、表町商店街への還元など

■事業報告 <4期目（R4年4月1日～R5年3月31日）>

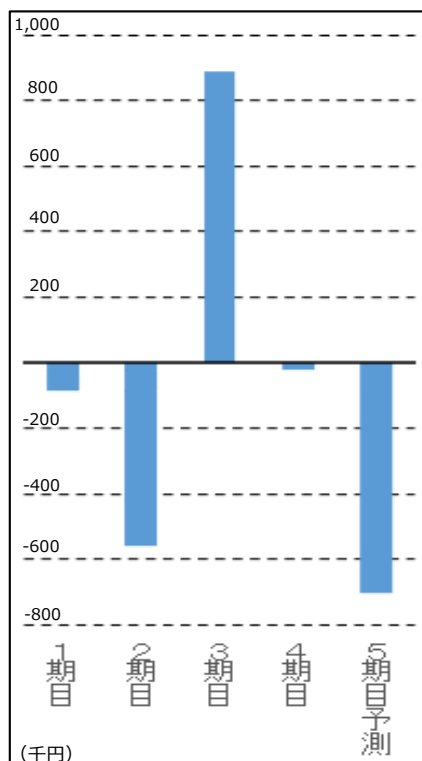
- ・事業の柱である「表町でんき」については、卸元であるエフビットコミュニケーションズの中国地方の高圧電力撤退や低圧の新規受付停止などの影響を受け不動産・営業外収入を含めた売上は3,093万円となりました。
- ・電気事業の契約件数は新規受付停止の影響で総計40店舗様127契約で横ばいとなりました。
- ・購入した表町3丁目の物件については満室が続いている状況です。
- ・売上の詳細については電気売上29,277,972、不動産売上1,572,696、その他84,000となりました。
- ・営業利益は297,994ですが、創業費の一部償却により、当期純損失23,137での着地となりました。

■事業計画<5期目（R5年4月1日～R5年3月31日）>

- ・「表町でんき」では2,650万円の売上を見込んでいます。（R5.6月からの値上げを加味しない）
- ・不動産事業については150万円の売上を見込んでいます。
- ・5期目の最終損益は70万円の損失着地を見込んでいます。電気事業での卸率低下が主な要因ですが、改善される兆しも聞いておりますので、引き続き慎重に状況を見極めていきます。
- ・商店街からの依頼を受け事務作業の一部を代行する見込みです。
- ・街づくり会社としての役割を見失うことなく「表町のために必要な事業（コミュニティ）」と「収益」にバランスをとり、表町商店街への還元ができる事業を継続していきます。



売上について



収支について